

令和5年度 都城市立石山小学校 学校評価報告書

【評価基準 4:期待を上回る 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する】

評価項目	重点指導目標と手段・ゴールイメージ (⇒)達成状況等 ※「児童」「保護者」は、肯定的な回答 (そう思う、大体そう思う)の割合	成果と課題	自己評価		改善策等	学校運営協議会	
			項目	総合		評価	意見
【かしこく】 学力の向上	① 主題研修を通して授業の工夫改善に努め、分かる、できる授業を展開する。(「授業が分かる」と答える児童90%) ⇒児童アンケート「①学校の勉強は、よくわかりますか。」で肯定的に答える児童91% ⇒学級の単元テスト(国語、算数)の全国平均(到達度)以上 ② 図書館サポーターや家庭と連携しながら図書館環境と読書活動の充実を図り、児童の読書習慣を育成する。(読書目標到達者90% 低・140冊、中・120冊、高・100冊) ⇒12月1日(基準日)までの読書貸出冊数(目標の70%)の達成者90% 低・140冊(98冊)、中・120冊(84冊)、高・100冊(70冊)	① 学力テスト等の結果分析を行い指導の重点を明らかにし、学習用タブレット等のICT機器の活用及び学び合いを取入れた授業を実施して、改善が図られた。 ② 学期ごとの目標冊数に達して、多読賞をもらう児童が1学期(75%)、2学期(77%)であった。1学期は、下学年(1~3年)を中心にボランティアによる読み聞かせ、2学期は、全学年に読み聞かせを実施した。(1年10回、2年11回、3年8回、4年2回、5年2回、6年1回)	3.5	3.0	① 「子どもが主役の授業」を研究し、授業改善につなげる。CRT 結果を分析し、補充指導を計画的に行う。 ② 図書館サポーターの有効活用を進め、積極的に図書館を利用するようにイベントを工夫する。	3.0	○ICT等の活用を進め、少人数のよさを生かして学力向上をするとよい。 ○「かつおの学習」や「くら寿司のSDGs」等、外部の協力を得て、子どもたちの学ぶ意欲を高められていることも評価できる。
			3.0				
【やさしく】 豊かな心の育成	① スクールワイド PBS の考えをもとに望ましい行動の育成と規範意識の高揚を図る。(「きまりを守る」と答える児童90%) ⇒児童アンケート「⑩~⑬」で肯定的に答える児童93% 「⑩あいさつ・返事、⑪廊下歩行、⑫履物を揃える、⑬無言清掃」 ② いじめ不登校対策委員会及び日常の観察、情報共有を通して児童理解を深め、いじめの早期発見、対応に努める。 ⇒児童アンケート「⑦学校は楽しいですか。96%⑧友達を思いやり優しく接していますか。」94%達成	① 児童の発達の段階に合わせて、担任が、よい行動を認め称賛する等、意欲を高めるように指導を工夫したことにより、きまりを守ることができたとして自己評価する児童が90%を達成した。 ② 心のアンケートや教育相談を定期的に行い、児童の些細な変化や気になる様子に気づき、個別面談や、保護者から情報を得ることで、いじめの早期発見と早期解決を行った。(いじめ事案0件、不登校0)	3.5	3.0	① よい行動を認め、場面にふさわしくない行動や言葉遣いについて、考えさせる指導を行い、判断力と行動力を育てる。 ② 定期的な「いじめ・悩み調査」と教育相談を継続し、児童理解に努め、早期に発見し、即対策を検討・実施する体制をつくり、組織で対応する。	3.0	○アンケートの結果が90%を超えていることは、素晴らしい。 ○朝の見守りをしていると、以前より仲良く楽しそうに登校している姿をよく見かける。
			3.0				

評価項目	重点指導目標と手段・ゴールイメージ (⇒)達成状況等 ※「児童」「保護者」は、肯定的な回答 (そう思う、大体そう思う)の割合	成果と課題	自己評価		改善策等	学校運営協議会	
			項目	総合		評価	意見
【たくましい】 たくましい体づくり	① 立腰指導を日常的に実践することで健康的な生活態度の向上を図る。(「立腰ができている」と答える児童90%) ⇒児童アンケート「⑩座っているときに立腰(ゲー・ペタ・ピン)の姿勢ができていますか。」で肯定的に答える児童68% ② 外遊びの奨励、運動量を確保した体育指導の充実を通して、体力向上を図る。(「体力テスト」で5月より伸びた児童80%) ⇒体力テスト(5月実施と11月実施)の結果を比較して向上した児童80%	① 毎学期月目標に合わせて「立腰チャンピオン」の取組をしたことで、その期間は、立腰の姿勢を意識する児童が増えた。学期ごとに、ポイントのレベルを上げ、段階的に立腰の姿勢がよくなるようにした。 ② 体育の時間に「石山サーキット」「石山ストレッチ」を取入れて運動を繰り返したり、体力づくり月間に(持久走、縄跳び、一輪車等)の技に挑戦したりすることで体力向上につながられた。	3.0	3.0	① 「立腰チャンピオン」の取組に、学習用タブレットを使う時のよい姿勢を意識させるポイントを加えて実施する。 ② 外遊びの奨励、運動量を確保した体育指導の充実を通して、運動の楽しさや喜びを味わわせるとともに、運動の継続を図る。	3.0	○学校で、様々な工夫をして体力づくりに取り組んでいるので、家庭でも取り組むとよい。例えば、大雨や雷の天気以外は、歩いて登校させることで、心身共にたくましい子どもに育てる。
			3.5				
【いきいきと】 開かれた学校づくり	① 学校運営協議会やPTAと連携、協働した教育活動を通して、「地域とともにある学校」を推進する。(「学校の教育活動」に肯定的に答える保護者や地域の方80%) ⇒保護者アンケート「⑭PTA活動等、学校と家庭・地域との連携が図られていますか。」で肯定的に答える保護者98% ② 学校だよりやホームページ、Sigfy等を活用して広報活動の充実を図る。(「学校の説明責任」に肯定的に答える保護者や地域の方80%) ⇒保護者アンケート「⑮学校便り・学級通信、ホームページ等で学校・学級の様子を知らせていますか。」で肯定的に答える保護者94%	① 学校運営協議会やPTAと連携、協働する機会を計画的に開催し、学校の教育活動について理解と協力を得ることができた。 見守り隊の方々による毎朝の登校見守り活動により児童の安全を守ることができた。地域ボランティアの協力により、教育活動(稲作体験やもちつき等)を充実させることができた。 ② 保護者や地域に向けて情報を発信し、教育活動への理解と協力が得られた	3.5	3.5	① 学校運営協議会と連携した教育活動を推進し、学習ボランティアや見守りボランティアなどの協力をいただくことで、教育課程の充実を図る。 ② 学校からの情報発信を可能なものから、「sigfy」でのメールによる情報伝達へ移行する。	3.5	○家庭・地域・学校が連携して活動できている。 ○十五夜相撲や花植え、グラウンドゴルフ等地域住民と親子で交流することができるとよい。
			3.5				